経営ビジョンシートの下書き

＿＿＿＿＿＿は、経営理念と将来ビジョン、それを達成するための取組と今回の事業を、次のとおり整理する。

1　経営理念

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

※ 経営理念を文章にしていない場合は、経営で大切にしている考え方を書きます。創業の経緯や屋号の由来から考える方法もあります。

2　将来ビジョン

ビジョン1として、

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

目標は＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿とする。

ビジョン2として、

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

目標は＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿とする。

※ 将来ビジョンは、経営規模・売上・利益・取組（販売・輸出・加工など）について、経営理念と強み・弱みをふまえて書きます。目標は数値と目標年で書きます。

3　経営の強みと弱み

区分（生産・仕入・加工・販売・組織体制・財務・設備・人材労務）ごとに、経営の強みと弱みを次のとおり整理した。

区分・項目	強み（選ばれている理由・自分の経営だからできること）	弱み（成長を妨げる要因・他より劣っていること）	弱みは克服できるか（○△×）

区分・項目	強み（選ばれている理由・自分の経営だからできること）	弱み（成長を妨げる要因・他より劣っていること）	弱みは克服できるか（○△×）

※ 強みは、自分の農産物が顧客に「なぜ選ばれているのか」を掘り下げて書きます。数字で書ける強み・弱み（単収・苦情の件数・定着年数など）は、なるべく数字にします。

4　外部環境と戦略

外部環境の追い風（機会）として、

外部環境の向かい風（脅威）として、

これらと経営の強み・弱みを組み合わせて、次の戦略をとる。

1　強み×機会（積極的な攻勢）

2　強み×脅威（差別化の促進）

3　弱み×機会（段階的な着手）

4　弱み×脅威（専守防衛）

5　将来ビジョンを達成するための取組事項

将来ビジョン	達成するための取組事項	担当者	実施開始（年月）	達成の目標（年月）

※ 取組事項ごとに担当者（責任者）を決めます。

6　今回の事業の概要

事業の内容は、次のとおりである。

この事業を行う動機は、次のとおりである。

事業による効果として、

取組の体制は、次のとおりである。

実施の時期は、次のとおりである。

課題・懸案事項として、

7　今回の事業の資金

8　アクションプラン

戦略（1〜4）	具体的な行動計画（年月：内容）	進捗の報告（内容・時期）	担当者

氏名 ＿＿＿＿＿＿